



札幌市立東栄中学校 学校だより
第 4 号
発行日：令和 7 年（2025 年）1 月 27 日
所在地：札幌市東区本町 1 条 7 丁目 2 - 7
電 話：781-0278 F A X：783-8136
U R L：http://www.toei-j.sapporo-c.ed.jp

全国学力・学習状況調査結果

令和 6 年 4 月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせいたします。

本調査は、国語、数学、そして生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の 3 つの調査を、全国の小学 6 年生と中学 3 年生を対象に実施されました。本校全体の結果については以下の通りです。この結果を、今後の本校の教育活動の様々な場面で活用していきたいと考えておりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

< 生活習慣・学習について >

生徒質問用紙の調査結果概要では、肯定的な回答を合計した結果を分析し、特徴的なものをお知らせいたします。

◆肯定的な回答の割合が高くなったもの

- ・自分には、よいところがあると思う。
- ・先生は、よいところを認めてくれている。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・平日、学校の授業以外に 2 時間以上勉強している。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを工夫して発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

◆教科ごとの課題と改善の方向についてお伝えいたします。

【中学校国語】

本校の概要

【区分及び領域】

- ☐ 話すこと・聞くこと
 - ・全国平均とほぼ同程度である。
- ☐ 書くこと、読むこと
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ☐ 言葉の特徴や使い方に関する事項
 - ・全国平均を下回っている。
- ☐ 情報の扱い方に関する事項
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- ☐ 我が国の言語文化に関する事項
 - ・全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- ① 意見と根拠など、情報と情報の関係を捉える。
- ② 文章と図を結び付けその関係をふまえて内容を解釈する。
- ③ 文の成分や順序や照応について理解する。
- ④ 自分の考えが伝わる文章にするために工夫する。
- ⑤ 表現技法について理解する。

改善の方向

- ①～③ 資料と関連付けながら文章を読み取ったり、目的に応じて文章全体から必要な語や文を選び端的に説明したりする活動を充実させる。
- ④ 自分の考えと、それを支える根拠とのつながりに留意し、表現の仕方や資料の活用なども工夫しながら記述する活動を充実させる。
- ⑤ 既習事項をこまめに確認しながら、知識の定着を目指す。

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学 【区分及び領域】 □ 「数と式」 ・ 全国平均を下回っている。 □ 「図形」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 □ 「関数」 ・ 全国平均を下回っている。 □ 「資料の活用」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。	① 目的に応じて式を変形し、その意味を読み取り説明する。 ② 三角形の合同をもとに論理的に証明し、新たな性質を見出す。 ③ 式やグラフ、表の特徴を関連付けて理解し、問題解決の方法を数学的に説明する。 ④ グラフからデータの傾向を的確に捉え数学的な表現を用いて説明する。	① 基礎的な計算技能定着のための反復練習及び用語の意味や問題文を理解し、式の意味を読み取り説明する場面を増やす。 ② 難易度の異なる多様な問題を設定し、筋道を立てて考え、今後も事柄が成り立つ理由を論理的に説明発表する時間を確保する。 ③ 伴って変わる2つの数量に着目し、その関係を式やグラフや表に表す基礎的な技能の反復練習及び表されたグラフや表のもつ性質を利用してその関係を見だし、説明する場面を増やす。 ④ 用語の意味を理解し、データの傾向の判断の理由を数学的な表現を用いて説明する場面を増やす。

※学習時期が直近の問題に比べ、1・2年生の内容ともに時間が経っているものは正答率が低い傾向にある。
学習内容定着のための復習時間（家庭学習）の定着、習慣化を促す。